

大田区新型コロナウイルスワクチン接種計画について(案)

健康福祉委員会
令和3年2月26日・3月1日
健康政策部 資料110番
所管 感染症対策課

はじめに

- ここでは、高齢者接種を中心とした接種体制を記載する。
- 一般区民も高齢者接種と同じ流れとなるが、接種会場が拡大する可能性がある。
- 接種はワクチンの種類、供給量、供給時期により接種開始日や接種会場等が変動する可能性がある。
- 医療従事者接種は東京都が接種調整主体となるので割愛する（2月中下旬から指定病院で接種）。

ワクチンの種類

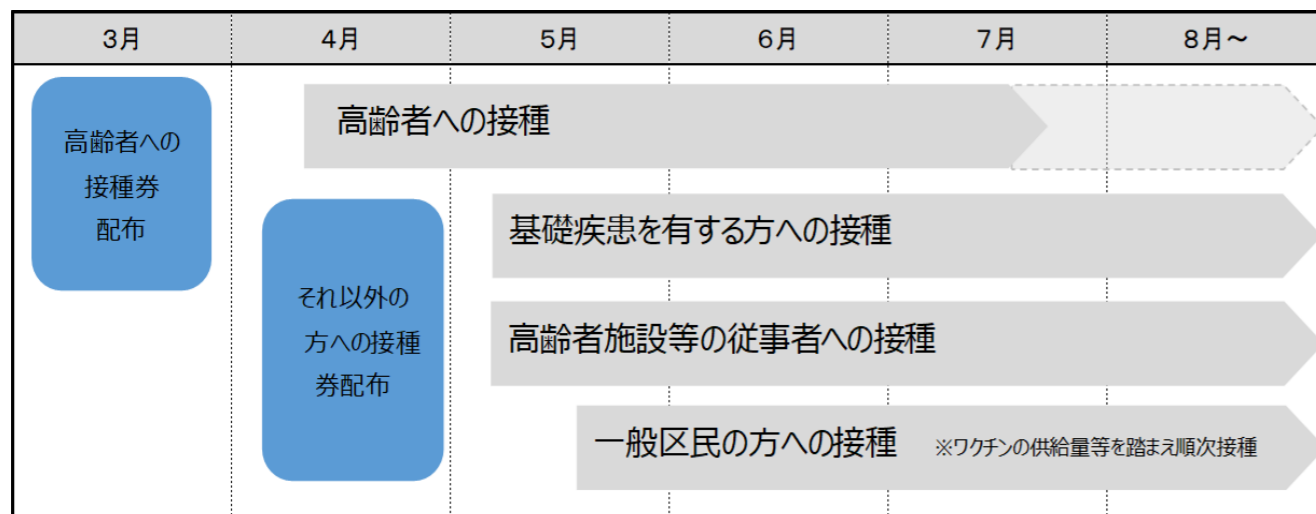
現在、ファイザー社製ワクチンのみの使用を想定して準備中

今後、供給予定のワクチン（モデルナ社、アストラゼネカ社）についても供給時期がわかり次第計画を変更予定

- **ファイザー社製ワクチン**（1ケース195バイアル、1バイアル6回分接種、-75℃保存、冷蔵庫で5日保存可能）
 - ・ 主に地域集団接種で使用する。
 - ・ 地域集団接種会場にディープフリーザー（超低温冷凍庫）を設置。
 - ・ 医療従事者等への接種が終わり次第、区内の病院でも引き続き区民へ接種する体制を整備する。

接種対象者・接種順位

- (1) 対象者 全区民 ※原則、住民票のある自治体で接種 ※年齢制限は国から別途示される予定
- (2) 接種順位（優先順位）は以下のとおり



全体スケジュール（予定）

- | | |
|--------------|--|
| (2月中下旬～) | 医療従事者等への接種開始 ※都が接種調整主体 |
| (3月1日) | 区報3月1日号（高齢者予防接種の概要、接種券の発送等の事前周知）
窓口・コールセンター運営開始（場所：本庁舎） |
| (3月30日～) | 高齢者への接種券（クーポン券）発送 |
| (3月30日～4月上旬) | 接種予約受付開始 ※予約開始日はワクチン供給量、時期が確定次第周知する |
| (4月上旬) | 区報、HP等で接種会場を周知予定 |
| (4月上中旬～) | 高齢者への接種開始 ※高齢者施設入居者についても同時期開始 |
| (4月下旬～) | 高齢者以外の方の接種券発送 |
| (5月～) | 基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者等への接種開始 |

接種体制及び実施計画

- (1) 高齢者（65歳以上）の人口 約166,000人×6.5割想定 = 107,900人 ⇒ 2回接種**215,800回分**
- (2) 地域集団接種会場及び病院等を中心とした接種体制を整備することで ⇒ **週42,620回** の接種が可能
⇒ 高齢者への接種は 215,800回 ÷ 42,620回/週 = **5.06週** で接種が完了する見込み
- (3) 高齢者福祉施設については、施設の形態、状況により〔1〕施設内接種、〔2〕施設外接種、〔3〕施設従事者の同時接種について福祉部と調整中
- (4) 16歳から64歳の者 482,688人

接種会場

集団接種会場における接種と医療機関での接種を併せた体制を確保する

- (1) 大田区集団接種会場 <計9カ所>
アプリコ展示室、区民プラザ体育室、嶺町集会室、六郷地域力推進センター会議室、池上会館、地域庁舎4カ所
 - (2) 医療機関 ※調整中 <15カ所程度>
荏原病院、東邦大学医療センター大森病院、東京労災病院、JCHO東京蒲田医療センター、池上総合病院、大森赤十字病院、田園調布中央病院、牧田総合病院、東京蒲田病院、高野病院、東急病院、目蒲病院、大森山王病院、糀谷病院、松井病院等
- ※ファイザー社製以外のワクチンは、医師会と連携し、区内診療所（200カ所以上）の個別接種会場にて接種予定



大田区集団接種会場配置図

- 地域庁舎
- 区民プラザ
- ★ 池上会館
- アプリコ
- ◇ 六郷地域力推進センター
- ⬠ 嶺町集会室

予約方法

簡単！早い！一人ひとりにあった予約方法を選べる！

- (1) ワクチン接種予約受付システムへアクセス
- (2) コールセンターへ電話する
- (3) 本庁舎1階窓口で申し込む

- ・接種券が届いてから
- ・スマートフォンから2次元コードを読み取る
- ・接種券番号と生年月日下4桁を入力する



接種までの流れ

- (1) 接種券（クーポン）が郵送で届く ※基礎疾患等をお持ちの方は可能な限り
- (2) 接種の予約をする 事前にかかりつけ医へ相談することをお願いする
- (3) 接種券と本人確認書類を持参し、接種会場へ行く ※運転免許証、健康保険証等
- (4) 接種会場です診票を記入し、体調などに問題が無ければ接種
- (5) 健康観察待機 ※15分～30分

組織体制

令和3年度から保健予防調整担当課長ポストを新設し、コロナ対策推進本部及び関係部署との連携をより強化する。